

| | |
|------|-------------------------|
| 法人名 | 社会福祉法人博愛福祉会 |
| 事業所名 | それいゆ定期巡回・随時対応型訪問介護看護今在家 |

令和3年度

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|------------------------------------|------------------------------|----------|---|-----------|-------------|---------------------|-------------|---|---|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できてい る | ほぼでき ている | できてい ないこと が多い | 全くて いてない | | |
| I 構造評価(Structure) 【適正な事業運営】 | | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | | |
| ① | サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている | | ○ | | | その人らしい生活が送れるよう、寄り添い実現に向けて工夫している。 | 自宅での生活は家族にとっても自身にとっても励みになります。本人に合わせた支援をされている。 |
| (2) 適切な人材の育成 | | | | | | | | | |
| ① | 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している | | ○ | | | ばらつきはあるが、サービスの特徴については十分に認識できている。 | ヘルパー業務等、随時に対応していただいている。 |
| | | 3 | 運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している | | ○ | | | オンラインによる外部研修等定期的に参加している。 | アセスメント力、連絡時の対応判断が的確と感じる。 |
| | | 4 | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している | | ○ | | | 問題なく配置している。 | 配置されている。 |
| ② | 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 5 | 介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている | | ○ | | | 情報共有システム・共有ノートの使用にて情報共有が円滑に図れるようにしている。 | 情報の共有が行えていると感じる。 |
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | | |
| ① | 組織マネジメントの取り組み | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている | | ○ | | | 必要に応じてシフトの時間を変更したり、対応できるよう工夫している。 | 本人希望に合わせて担当者の配置をしていただいている。 |
| ② | 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | 介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている | | ○ | | | 新型コロナウイルス対策にて顔を合わせての面談や会議等が開催できておらず、紙面での開催となってしまった。 | 新型コロナウイルス対策は必要で、オンライン研修等の検討も良い |
| (4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 8 | 利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に認じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている | | ○ | | | 個人ファイルを作成し、職員間での情報共有をしている。共有ノートを自宅に置かせていただき、訪問看護・ケアマネ・家族との共有ができるようにしている。また、家族様、ケアマネ、看護師等連携機関が閲覧できる情報共有システムも | 情報共有により関係者で迅速に対応が行える。 |
| (5) 安全管理の徹底 | | | | | | | | | |
| ① | 職員の安全管理 | 9 | サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等) | | ○ | | | 360°車載カメラを全車両に設置している。災害時業務継続計画(BCP)を作成し、閲覧できるようにしている。 | 職員の安全確保ができています。 |
| ② | 利用者等の個人情報の保護 | 10 | 事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている | | ○ | | | カルテ類は鍵付きの書庫にて保管している。 | 第三者に情報がいかない工夫をされている。 |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | |

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|---------------------------------------|---|----------|---|-----------|-------------|---------------------|--------------|--|---|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できてい る | ほぼでき ている | できてい ないこと が多い | 全くでき ていない | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 11 | 利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている | | ○ | | | 利用者様だけでなく、同居家族等の生活リズムに合わせた計画を提案している。 | できていると思います。家族・本人の生活リズムに合わせて訪問されている。 |
| | | 12 | 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている | | ○ | | | 看護がアセスメントした内容に準じて訪問・ケアを行いながら、介護が訪問時にアセスメントをした内容を情報として共有している。 | 介護サービスの前にバイタルチェックをしていただいていると聞いています。本人の状態変化を情報共有されている。 |
| ② | 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 13 | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている | | ○ | | | 本人様や家族様の希望を聞きながら、できるだけ長く在宅生活が送れるようサービスの工夫をしている。 | 家族や本人の希望を聞いてもらっています。本人の行える・行えないの把握をし援助されている。 |
| | | 14 | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている | | ○ | | | 本人様・家族の希望を聞きながら、適切なケアが行えるようその都度相談・提案している。 | 臨機応変な対応をしてもらっています。病状悪化時は看護師との相談、家族との相談、提案あり。 |
| (2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | | | |
| ① | 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供 | 15 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている | | ○ | | | ノートや電話連絡にてその都度対応している。 | 対応してもらっています。術後の点眼等必要時はケアマネより連絡し対応いただけた。 |
| ② | 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 16 | サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている | | ○ | | | 毎月モニタリングを行い、状況が変化したときはその都度訪問回数や内容を変えて対応している。 | 本人に合ったサービスを提供してもらっています。家族在住・不在時に臨機応変に対応いただけた。 |
| (3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | | |
| ① | 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17 | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている | | ○ | | | 訪問看護の指示を受け、注意点等を聞いたり介護が訪問時に異常があれば看護につなげられるよう、その都度報告している。 | 職員に看護師さんがいるので安心します。看護師、介護士との状態変化時情報共有されていると感じる。 |
| ② | 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 18 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている | | ○ | | | ノートや本人様の状態を見ながら的確に指示をいただいている | きちんと対応されていると思います。病状に合わせて指示されている。 |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | | ○ | | | サービス決定時・契約時に説明を行っている。 | 夫は難聴のため、娘様へ説明していただいています。説明されている。 |
| ② | 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている | | ○ | | | 計画書にサインを頂くときに、直接説明しながら署名・捺印していただいている。 | 問題なくされている。 |

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | 外部評価 コメント | | |
|---|---|----------|--|-----------|-------------|---------------------|--------------|---|--|--|
| | | | | 実施状況 | | | | | コメント | |
| | | | | できてい る | ほぼでき ている | できてい ないこと が多い | 全くでき ていない | | | |
| | | 21 | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | | ○ | | | 共有ノートや、緊急の連絡の場合は電話にて連絡しケアマネにも報告をしている。 | 変化があったときは連絡をいただいています。 状態や状況変化の際等、連絡いただいている。 | |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている | | ○ | | | 情報共有システムを使用しており、確認していただいている。 | 何度かアクセスしましたが、うまく表示されず見れていないです。 記録ツール登録し確認行っている。 | |
| | | 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている | | | ○ | | インフォーマルサービスについての提案ができていない。今後は活用できるような工夫を考案していきたい。 | 配食弁当等、事業所への連絡行っていただいたことあり。 | |
| ② | 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 24 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている | | ○ | | | 事前の情報提供・担当者会議への参加により、サービス導入時・現在の状況等の情報を提供している。 | 情報提供をしていただいています。 現状は他サービスないが今後は予定あり願いたい。 | |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | | | |
| ① | 利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目) | | | ○ | | その都度相談はしているが、提案には達していない。検討できるようなサポート体制についての知識を十分に得ていきたい。 | 本人に意欲がないため活用できていない。 家族の可能な支援についての検討はしている。 | |
| | | 26 | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目) | | ○ | | | 訪問看護の協力を得ながら、情報の共有をしている。 | 必要時は行ってくださっています。 退院時、状態変化時は現状の状態報告、伝達を病院と情報共有行われている。 | |
| ② | 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 27 | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目) | | | ○ | | 地域への働きかけ(民生委員・自治会等)ができておらず、共有ができていないことが多い。 | ご本人も嫌がられると想像できるので、地域への働きかけはしていません。 普段の生活の中で地域とのつながりが利用者のため、連携することがない。 | |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | | | |
| ① | 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 28 | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている | | | ○ | | 地域に向けた発信ができておらず、なかなか地域に利用者が増えていかないが、今後自治会や地域包括と協力しながら地域に根差したサービスの提供をしていきたい。 | サービスの内容が説明すると分かってくるが、定巡自体がポピュラーな介護サービスではないのかな?と思います。 定期巡回の介護サービス利用時は担当者へ確認する。 | |
| | | 29 | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている | | | ○ | | 積極的な広報活動ができていない。感染対策や、周囲の状況を見ながら周知活動を行ってきたい。 | 感染対策もあり広報活動の制限をされている。 | |
| (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画 | | | | | | | | | | |
| ① | 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 30 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | | ○ | | | 地域包括ケアシステムについては、十分に理解できている。 | 理解されている。 | |

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | 外部評価 コメント | |
|------------|------------------------------------|----------|---|-------|---------|-------------|----------|--|--|
| | | | | 実施状況 | | | | | コメント |
| | | | | できている | ほぼできている | できていないことが多い | 全くできていない | | |
| ② | サービス提供における、地域への展開 | 31 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている | | ○ | | | 特定の建物等には訪問していない。 | サービス提供に支障のないよう近隣の地域を回られている。 |
| ③ | 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32 | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目) | | | ○ | | 課題を保険外サービスや、インフォーマルサービスの活用に結びつけられていない。利用者や家族にとってどのようなサービスが最適なのか、十分に提供していきたい。 | インフォーマルサービスに結びついていない、今後検討していきたい。 |
| ① | サービス導入後の利用者の変化 | 33 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | | ○ | | | 状況や状態に応じてサービス内容を変更・調整している。 | その都度対応していただいているので、遠方の家族も喜んでおられます。利用者状況、状態に合わせて訪問されている。 |
| ② | 在宅生活の継続に対する安心感 | 34 | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている | | ○ | | | 状態に応じた訪問をさせていただいているので、使ってよかったと声をかけていただくことが増えてきた。 | 定巡サービスを利用しないと在宅生活が継続出来ていないので、助かっています。随時、緊急時の訪問行え利用者、家族とも安心されている。 |